

# 「国民健康保険・長寿医療制度」のお知らせ

## Vol.3 高額医療・高額介護合算制度について

### 高額医療・高額介護合算制度とは？

「高額医療・高額介護合算制度」とは、1年間に医療費と介護サービス利用料の自己負担が高額になった方の負担を軽減することを目的とした制度です。（この制度を受けるためには、申請が必要です）



### 高額医療・高額介護合算療養費の算定期間

算定期間は、毎年8月1日から翌年7月31日までとなります。  
ただし、今回申請をいただく算定期間は、  
平成20年4月1日から平成21年7月31日までの16か月間  
となります。

### 支給対象となる方

同一世帯内の国民健康保険または長寿医療制度の加入者で、『医療費』と『介護サービス利用料』の自己負担額の合計が、下表の自己負担限度額を超えた方が対象となります。

同一世帯であっても、国民健康保険（長寿医療制度）に加入していない家族の自己負担額を合計することはできません。また、食事代や居住費などは含みません。

所得区分 注1		自己負担限度額 注2 計算期間：平成20年4月1日～平成21年7月31日
現役並み所得者		168万円（89万円）
一般		89万円（75万円）
住民税 非課税世帯	区分	45万円（41万円）
	区分	45万円（25万円）

注1 所得区分は、基準日（平成21年7月31日もしくは資格喪失の前日）現在の所得に応じて適用されます。

注2 70歳以上の方は、（ ）内の限度額が適用されます。

### 申請手続きのご案内の発送

支給対象となる方には平成22年2月以降に、役場もしくは新潟県後期高齢者医療広域連合から申請手続きのご案内を発送します。案内が届きましたら、住民福祉課で申請手続きを行ってください。

また、案内が届かない方でも支給対象に該当すると思われる場合は、住民福祉課までお問い合わせください。

#### 申請手続きのご案内ができない方

下記の要件に該当する方は、役場（広域連合）から申請手続きのご案内が発送できません。

#### 【要件】

- 同一世帯内の国民健康保険（長寿医療制度）加入者の中で、平成20年4月から平成21年7月31日までの間に
  - ▷75歳に到達するなど後期高齢者医療制度に加入された方がいる場合
  - ▷市町村を越える転居をされた方がいる場合
  - ▷加入者の方がお亡くなりになった場合



# 関川村包括支援センター通信 ⑳

地域包括支援センター 役場庁舎内一階 ☎六四一―四七三

新潟県では、雪などの気象条件により高齢者を見守る機会が減少する二月を「高齢者見守り月間」としました。

この取り組みは、近所で挨拶などの声かけをしたり、地域の高齢者にさりげなく目配りをしたりすることで、高齢者の見守りだけではなく、地域コミュニケーションを活性化することも目指した取り組みです。

**高齢者を見守るとは…**  
近所や地域の方のサインに早めに気付くことが大切です。

認知症

判断力が低下し、生活に支障が出てくる病気です。

何回も同じことを尋ねたり言ったりする、日付や場所の見当がつかないなどの高齢者を見かけませんか？

高齢者虐待

高齢者の人権をおかすことです。天気が悪くても、高齢

者が外に長時間いる姿を見かける、訪ねても高齢者に会わせてもらえないなどはありませんか？

孤独死

地域でのつながりがありません。孤立した状態で高齢者が亡くなる場合があります。郵便物が一杯になっている、暗くなっても電気がつかない、姿を見かけないなどはありませんか？

いつもと様子が違う、心配なことが起きていると気づいたときは遠慮なく、お知らせ・ご相談ください。

## 2月は 高齢者見守り強化月間



## 投稿

「みんなで考えよう」

地球温暖化

平田 時夫（滝原）

道

二十世紀、世界の中の日本。百年の変遷資料・自動車の起源を調べたら、世界初のガソリンエンジンの三輪自動車は、一八八六年（明治十七年）、ドイツ人のカール・ベンツ氏が開発しています。日本では、一九一一年（明治四十四年）、東京自動車製作所で完成したリムジンとあります。そして、一九四七年（昭和二十二年）には、ガソリン不足によって登場した日本独自の発明である木炭自動車。また、世界で初めて量産を実現した、トヨタのハイブリット車（プリウス）は一九九七年（平成九年）製です。このようなことを書くくと、おそらく皆さんは自動車のコマーシャルと勘違いされると思います。

実は、私はこの歳で、今人の気の高ブリット車を運転したくてならないのですが、高くて肝心のお金がない。高齢者や地域の整備が整っていない。政府が援助資金十万円、プラス最大五万円、私の年代だと三万円だが、これも政権交代によって四月での打ち切りの可能性が高いようだ。「明日ではエコは間に合わない」ようだ。とても条件が伴わないし、手が出ない。最後の交通手段は、自動車、タクシー、遠距離は電車というのが私のエコ協力かな。

読者にも自分にも理解できないようなことを書いて、今回で八回目。少しは理解してもらいたい一心から、先月「ほんとうの環境問題」（著者・池田清彦氏、養老孟司氏）という参考書を買いました。環境問題はひと口では言い表せない大きな課題があります。本当の環境問題とは？人間が生きていくうえで、物理的に大事なものは「衣・食・住」だが、いざとなつたとき「衣（着るもの）」は、それほど大きな問題ではない。やっぱり「食」と「住」、すなわち食べることで、どこでどう暮らすかということが最大の環境問題になる。（ほんとうの環境問題から抜粋）

私は、エコカーが本当に環境にやさしい良い車だと思つていました。しかし、エコカーを作るのにどれだけのコストが必要なのか知りませんでした。ハイブリットカーのような高性能で高価な車を買うのは、その人の自由かもしれませんが、加速も良く車重もあるんで、道路の損傷が大きいという。

もし、生活にどうしても車が必要だったら、車を作る時の材料やエネルギーも少なく、燃費も良く、軽くて道路も傷めないものが良い。さらにスピードもあまり出ないのなら交通事故を起こす危険も少ないという。（註「間違いたらけのエコ生活」より。著者・武田邦彦氏）

次回は「食」についてお話しします。